

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中央公民館施設管理事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	05	06	04
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進	主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中央公民館利用者	意図	安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	中央公民館利用者が施設を利用できるよう、施設の維持管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和44年開館以来、生涯学習のニーズに応えた整備を心掛けているが、老朽化に伴い臨時的な補修が増加している。 平成27年度は、ロビーの暖房改修を行い利用者に快適な環境を提供した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	中央公民館施設の稼働率	27	65.50	34.20	%
②	中央公民館施設利用件数の増減率	14.50	17.90	7.50	%	↑↑↑	当該年度／前年度－1
③	中央公民館施設利用人数の増減率	8.80	11.50	6	%	↑↑↑	当該年度／前年度－1
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・実施計画に沿った改修を進めていく。 ・施設の老朽化による修繕が増加している。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,333,169	3,905,647	3,508,076			
事業費(b)(円)		869,719	1,393,077	1,148,376			
うち一般財源		869,719	1,393,077	1,148,376			
職員給与費(c)(円)		2,463,450	2,512,570	2,359,700			
人役・職員(人)		0.25	0.25	0.25			
人役・再任用(人)		0.30	0.33	0.20			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	施設整備を計画的に進め、中央公民館利用者の安全性を高める。	③取組の課題	施設の老朽化に対応し、順次、緊急性の高いものを優先し、修繕を行っていく必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	利用者に施設を快適に利用いただくため、ロビーの暖房改修を実施した。	④今後の改善計画	施設の老朽化により今後も施設整備を計画的に進めていく。